

わたしの 妊娠報告書

記載日 2013年 9月 12日

| | | | | |
|-------------|---------------------|----|---|----------|
| おめでた宣言日 | 2013 | 年 | 1 | 月 |
| 年齢 (41) 歳 | 平成 (18) 年 (3) 月 | 結婚 | | |
| 私は (顕微授精) | | | | で妊娠しました。 |

| | |
|--|------------------|
| 不妊治療歴 | (2) 年 (5) ヶ月 |
| 他院での治療歴 | (なし) あり→内容 () |
| ASKAでの治療歴 | |
| 一般不妊治療 | |
| <input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回 | |
| 生殖補助医療 | |
| <input type="checkbox"/> DOST 法 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 体外受精 () 回 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (6 ?) 回 | |

妊娠の秘訣・心がけていた事

・体を大切にすること。少はとも週一回温泉に行くようにしていました。家で足が冷えるように湯めて、そして極力冷たい物を飲まない、食べるようにしていました。・焦らずに、諦めることばく、先生を信じて、治療に臨みますが、気分を楽にして通院すること心がけていました。・散歩など軽い運動を1時間毎日にして、(=駅)歩いて通勤してました。自分の体調を改善することも大切だと思っていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

夫婦ともに高齢で、しかも夫が日本で働いていないため、最初から顕微授精にしました。採卵と移植はどちらも痛くなかったのですが、最初の採卵移植後に卵巣過剰刺激症候群には、やはり、治療を10月ほど中断せざるを得なかったのです。その間は妊娠したものの、21週目で死産という悲しい結果になって、つらかったです。そのおかげで、その後も諦めずに治療を継続しました。

その他（通院・治療費・家族など）

家と職場からの通院でした。近頃はかかりが、そんな苦に感じていませんでした。一人暮らしで、家族からのメールと電話は支えになっていました。治療費は高かったです。心算りで何とか大丈夫でした。

治療中の方へのアドバイス

物事はすべてうまくいけばいいのです。お利大まな期待をもちないほうがいいかも知れません。先生のことを信じて、前向きに治療に臨んだほうがいいです。努力さえすれば、必ず何らかの形で報われると思わせます。

スタッフへのご意見など

掛けをうけ、長時間いつも温かいお言葉で励ましてくださると、診察時間の調整、注射の説明などをいつも親切に丁寧にしていただき、スタッフの皆さん、本当に世話になってます。皆様ののおかげで、とても元気なかわいい娘が生まれました。先生及びスタッフの皆様に非常に感謝しております。